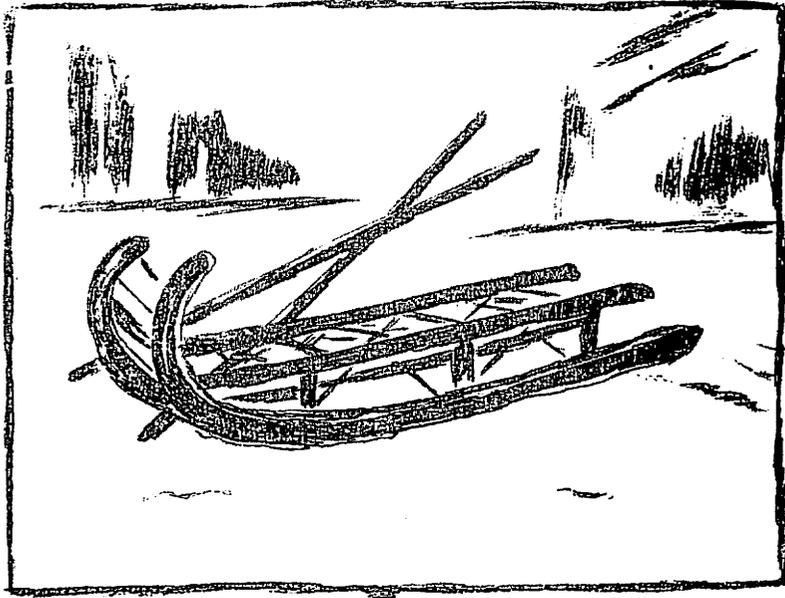


# 部 報

II



北海道大学馬術部

# 新年度の抱負

主将 樋口正明

宮沢前主将よりバトンを引きついで以来早くも二月をもちょうやらの運営という名のわがかり分け一応計画だけは色々と思ひ出しに次才です。先ず新年度役員を紹介します。

氏名	学部	出身校
主将 樋口正明	法三	東京新宿高
副将 渡辺俊弘	工三	夕張北高
マネージャー 生田勝一	至二	新津高
飼育 伊藤亮	獣三	一関一高
会計 千葉幹夫	二	
会 今田 哲		
務 佐伯雄二		
森本祥二		
田中紀介		

今耳は馬術部復活五周年にあたり十月 日さ、マカ女が先輩現役をまじ之祝賀会を行ひ昔の馬術部

の枚子色々を知事が出来て実に有意義でした。今後ますます先輩と現役との間に親密にして馬術部の健全な発展をはかりたいと思つて居ますので皆様の後力をお頼りする次才です。

私が北大に入り馬術を始め、以来常に思つてゐることは何故馬産地北海道の馬術が全国的にのみ不振なにかといふことです。これは各が長く習が多しといふ地方であるため良い指導者に恵まれなかつた理由が種々あるとは思いますがこれに対する方法が全然なはとは思はれませんが。そこで将来北海道を日本馬術界の中心地とすべく、少くともその基礎的地盤を作るべく、努力して行きたいと思つてゐます。そこでこれに対する具体的方法は何かと云うに先ず馬術に興味を持つ人を増加させる事即ち大衆の間に馬術といふスポーツがしつかりと根を下す事であつて貴族的なスポーツとして非近代的なスポーツとして特殊な目でみられるようでは在らぬのであります。これは岸日頃から馬車思想普及の爲努力することにより実現されて行くのだと思ひます。支持層が増せば自然愛好者も増加するように在るでせう。先ず当初我々が目標とすべきはこの馬術に理解ある人を増すことにあるのだと確信してゐます。これは北大馬

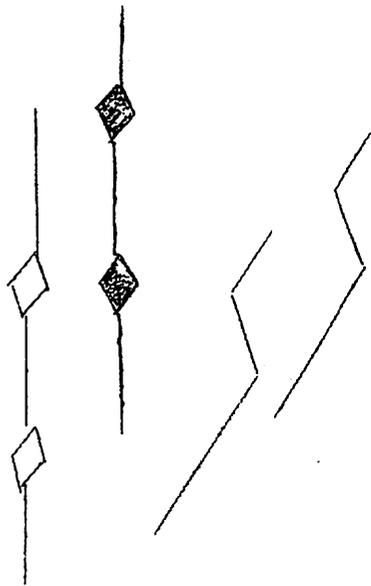
北海道のみの問題ではなく、北海道畜産の発展を期し、  
 ます、そこで先導諸氏、札幌畜産クラブ、樽本畜産  
 大学、札幌競馬場との連携を図り、及び個別飼養  
 母畜と協力し、互に少くも、その前途して行き正し  
 と思つていきます。

又来年度は本州方面に於て出来るだけ多くの対外試  
 合をすることによつて至驗をのみ実力を養ひ、馬産地  
 北海道の實力を遺憾なく發揮すべく計画をたててい  
 ます。

来年度の主な行事日程

- 一月上旬 冬期合宿
- 四月上旬 全国学生指導者講習会に参加(東京)
- 五月上旬 春期合宿
- 〃 〃 春期牧場見学
- 〃 中旬 対帯玄畜産大春期定期戦(札幌)
- 〃 下旬 東日本馬術大会(東京)
- 六月中旬 北海道大会
- 〃 下旬 東北、北海道大会(札幌)
- 〃 〃 対東北大学定期戦(リリ)
- 七月中旬 国立七大学定期戦(山合)
- 〃 〃 札幌地区親善リーグ
- 下旬 夏期合宿

- 八月下旬 夏期合宿
- 九月上旬 北海道団体選手権大会
- 〃 〃 北海道学生馬術選手権大会
- 〃 〃 対帯玄畜産大秋期定期戦
- 十月上旬 国民体育大会
- 十月下旬 全日本選手権大会



# 生きものの記録

## 自馬六頭の飼養状況報告

飼育係 千葉幹夫

飼育日誌抜粋

九月十日 飼育計画作成、左の如し

年間燕麦総量 二四三俵

年間乾草総量 十トン半

〃 寝ワラ 十二山

※燕麦はシーズン中日量最高六升、シーズン外は三升とし、乾草は冬期間だけ枚草に用い全期を通じて切わらとして用うることにする。

オ一養場より朝清、草運を借りる事に決定。

九月十五日

北斗週削により右後肢跛行、蹄鉄をはずし、冷湿布を被す。北斗、北谷、北潭、自体出場決定し以後特殊馬とす。

九月二十五日

北斗装蹄す。

九月二十九、三十日

越冬準備の爲作業を行ふ。乾草二山、寝わら三山運搬す。

十月五日

北榆、達運に蹴らる。外傷約五種、跛行せず

十月六日

右前冠膝頭着とせる、冷湿布を行ふ。

十月八日

特殊馬燕麦と七升五合に増量す。他馬は四升五合に減量す。全馬下痢がみとなる。トオキビのせいと慰はれる。

十月十七日

北潭、養馬場にて特殊中馬鞍し跛行す。

十月十八日

北潭通鞍、左前肢腱鞘炎、右前肢冠膝と診断さる。

金治二ヶ月との事。

十月十九日

困体へ出発、火斗、火峯、飯斗を祈る。

十月二十三日

火潭の前肢交互に腫脹す。冷湿布と絞ける以外に療  
法なしとの事。蒸考日置四升に減量す。近頃運動量  
二時間位となる。

十月三十日

火潭回復著し、跛行認められず。蛔蟲煮にて軽い速  
歩どゆる。

十一月五日

再び火潭左前肢、熱感あり腫脹す。安静と冷湿作の  
要あり。火潭のみ蒸考日置三升に減量す。

十一月九日

夜中十二時頃火斗、火峯歸す。

十一月十一日

火峯、咽喉カタルと診断さる。火斗、立ち腫れひこ  
し、当分の間、両馬とも運動量減じ、疲労回復につ  
とめる。火峯毎日通院の要あり。本耳交最後の作業  
と行ハ減量準備完了す。御苦勞杯でした。

九月以降自馬大頭の飼養係としておつたが、見当の

つたぬま、どうく、冬を過えてしまつた。今年以後  
期合宿で養草をあげたので、越前準備は割合スムー  
ズにいった。冬になる前に十舎の戸を修理したいと  
思つたのに仲々まゝならぬ中の中ですわい。

これからは飼育ノートを用意したので正確な記録を  
取つて色々改善すべき矣を見つけて行きたいと思ふ。  
部員の飼育の癖のリングゴ、トウキビ等心胆を碎いた  
事はひと分をならぬ右のであつた。

# 日高遠足

一年 田中紀介

文化の日と日曜日の連休を利用し、部では英習と  
かねて日高牧場を見学した。三日朝四時の汽車に乘  
るべく早く起きた部員は千代線の車中ではまだ睡  
気だといわずいつになく(？)温和しかつた。苫占牧場  
一時同近く待ち合せて混雑した日高線に乗つてがや  
めて座れて窓外の景色も落着いて見れるようにする  
と、右半は蒸気色の海岸に太平洋の濁つたうねり、  
左手は玄冥たる湿気帯で時々中半、軽半馬が放牧さ

れているのが現れる。例によつて、君がトランスを  
持ち出せば、此方では将棋で二年生が三年生をいじ  
めてゐる。それを駒の動きも知らなひ一年生が口を  
出す。十二時静内駅に着く。先輩下飯坂さんが出迎  
えてくれてバスに乗つた。

我々は本当にこれ以上の美しさはあるまいと思は  
れるほどの素晴らしい景色の中を通つて行つた。右側  
はシベキヤリ川で左側は山手であるが両側至る所紅  
葉して実に綺麗だ。ロマンチストの諸氏は只感嘆す  
るばかりだつた。一時同近く乗つて切符を十三枚買  
つて、御園で降りると我々は紅葉の真只中にあつて仄  
々しいのに葉が次々に降つてくる美しさ。少し急な  
坂を登りきるとすぐ日高牧場の入口で今交は直直な  
道が横に延びている。まだ緑色の喬木並木を映画に出  
くるようなシーンだ。遠くは層松林に縋いて燃える  
ような山。皆スゴイ／＼の連発。天皇陛下の泊つ  
た所を横にみて牛舎蔵舎の間を縫ひたい牧場に出る  
とアラ、サラが美しい容体を見せて草を食つてゐる  
皆よく肥つてゐる。こんな広い場所を走らせたら気  
持が良いだろうなあ等とみんな口をぬいた。当地才  
出身の郎頭に日高は寒いと聞かされて厚着をして来  
た諸氏は思ひもよらなほど暑さにフーフー、全く汗は

天気がつた。うしろの才では複雑な合唱が始まつて  
皆楽しそう。

長持の良い宿舎は我々一行を日の丸を毛つて歡迎  
してくれた。すぐに待つていた昼飯がでた。ライス  
カレットである、とニコがそのカレシが十三人分あつて  
それでしかも一人分足りなひ「オイ誰だアタタメて  
いるのは」変だよ算えてみようか、あつ十四人居  
るし!! マネージャー車中で人数算之のとき御自分  
を勘定に入れなかつたらしい。車算もポコイネとは  
皆の語。ともかくウマかつたです。

食後睡魔(?) W君と絵の具を持って出かけたS君  
を除いて皆馬に乗してもらった。馬は道産馬の血の  
混つた小型で手入れをしないので乗れるとは夢の様な  
話。広い野原を充分に馳ばす長持の爽快さ。皆もう  
うれしくてたまらぬ表情だつたが中に一人の御仁小  
川を渡る時川底の石に滑つた外馬が転んでザンズと  
投げ出され背を濡らしたのはほんとう長持の毒であ  
つた。下飯坂さんを囲んで記念写真を取る。画伯(?)  
の絵も出来上つて皆楽しく指合に帰る。あたりの山  
は夕陽に映えてますます美しく見事だつた。夜は下  
飯坂さんを囲んで談笑、種々互写真を見せていたた  
き大いに参考にした。

四日、成合見学種馬の屋敷で貰った。朝着の夕更  
 口を面会する。是後乗馬が乗れる種馬屋の子にそつと  
 リド。生憎雨が降って来たが、遊走馬の種馬に乗せ  
 てもらった。反動が強く乗れ易いのが好かす云う  
 幸できかず大郎手古槽にされたが全買乗事に済んだ  
 秋牧中のアラ、サヲ君達と写真で撮り互に日高での  
 愛い納めをする

僅外二日間だったが大本来に楽しかった。皆さう二  
 三日居たいと云うのでたがそれが出せず、雨の中  
 とジーンの中へもう一夜来るぞと美しい山  
 と見送りながら名残り惜しい日高を去った。(丁記)  
 先輩下飯坂さんには大変お世話になりました。厚  
 く感謝致します。



## 編集後記

○いつもの事ながら乗稿取りには手をやい  
 三。ゆえりうるさく回つたので居留守を  
 使う部員まで出る始末、しかもこの不出  
 来にお詫かする次第。

○四耳生は既に故づけで呼ばれるがこの外  
 大坪級になるとボコくなる。手紙に切手  
 をはらずに出したりシヤシンミワゴムで  
 巻いてポストに入れたり、このようほち  
 のに受けとった方はぜひ御注意下された  
 し。

○外の部が軒をみ未字のダンスパーティーに  
 莫大収入を得た。部員一同アゴをなで  
 て「ヤハリ馬背部は……」ニヤリ  
 ○今年の四年生は部内の行事に新しい試み  
 を数々取り入れてくれて一年同業しくく  
 らすことができました。遠足は外遠乗と  
 か、ふかしの外乗のオヤツゼチーフが買  
 買賃を稼いだのはイカンですナア

# 前年回顧録

前主将 宮沢寛

とにかく第百畜大にはテットオテツビやられ  
定期戦、東北、北海道、全道馬術大障、北海道  
選手権等、先ずケチのつきはじめは定期戦。バ  
スは畜大のために大いにゆれて我々をいためつ  
けるし、帯広の天辰までシリ／＼廻りつけて我  
々の頭をボケさせるという工合、それかあらぬ  
外畜大は強かった。いや我々の弱さ故かちね  
ん。実際我々は過去三連勝の記録をみてちよつ  
と丘めてかかっていた。これは事実だ。その結  
果がとておシオカラかった。これはいかんとい  
うのである。直して先ず中央の試合に初参  
加のり込んだ。これが又いけなかつた。そこ  
でこれでは先輩に申訳ない。後輩に示しがつ  
んと腰をぐつと低くすえて最高の目標である旧  
七帝大戦を最低の義務と決めた。こうなると連  
敗の選手五人、血眼になつて練習にはげんだ。

こゝまで落ちるとオリンピック精神はよくそく  
らえ、参加することより勝つためが先、つまり  
少々頭に来た。教授の顔を見て馬の顔に見え  
る。つまりそれほど授業をさぼつたので教官の  
顔も忘れたいということ。その故に苦悶して外  
俾に勝利の宴のシンギスキャンはうまかつた。シ  
ョーチキも又甘盛。

今から考之ても本当に感激した。純銀の東大杯  
宮杯に先輩の祝いビールと満ちて回し飲んだ  
時丘には涼台よだれも鼻水を×チヤクチヤとあ  
ふれて来て最後の選手が腹一杯に飲み込んだ後  
にも液体が杯からあふれればかりであつたと云  
う。とにかく勝つた。しかし冷静になつて考之  
てみると、昔は七帝大戦に勝つことなど及びな  
つかぬことであつたといふから、たしかに偉大  
なことにしたのであるはずなのにどうも影がうすい。  
左様去年の先輩が偉すぎた。勝すぎた。我々が  
こゝにムキにならなけりやならなかつたのは  
彼等のせいである。実に恨み骨髄に敵す。だが  
待てよ、我々は少くとも来年、再来年と感謝さ  
れるにちがいない。

# 馬

# 術

# 部

## 一 年 森本悦二

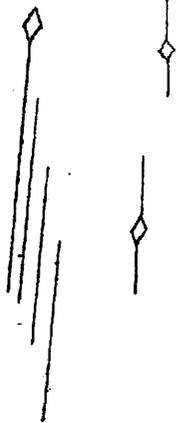
小さい時から動物が好きで、馬に乗ったのは学校の修学旅行の時や友達と一緒に旅行する時、観光地によくある貸馬に乗っただけである。あるとき他の人が誰も乗らないのに、自分だけ乗り乗った拍子に馬が走り出して、早く手綱を引いても止らず馬上で固くなつて、後で体中が痛くなり熱を出して二三日寝た。こゝを覚えてゐる。だから漠然と馬に乗る事に憧れてゐた。北大を受験するとき友達に北海道まで何のために行くのだと云はれたとき、馬に乗るために行くのだと云つたことがある。

偶然長谷川邦君も馬術部に入りたいと云うので、二人で入学式の当日本部の横のグラウンドで行はれた馬術部のデモンストレーションとポスターとにつづられて入ったのである。

その翌日であつたが、馬術部の部屋に行くとき榎本先輩が新入部員の心得や部の内容を部員としての義務等を親切に教へてくれたが、今まで考へてゐたことが、余りに簡単にすぎたのに驚いたと同時にこ

んをむかふといふことが自分に出るからどうも疑問で持つてゐる。それがし、それは新しいものには付する。最近の事あることに後になつて判つた。勿論作業も当務もつらひし。幾らかの失望もあつた。しかしそれ以上は上級生の上手に乗るのを確信飛越を見て発奮せよといふ。途中でやめる人がいたけれども今まで乗つて来たてゐる。

馬術部に入部して馬に乗るといふ私の希望は満足させられなければ、私も私に利益があつたのはそれだけではない。憧れてゐた大学の諸義は二三の例外はあるが、どれも自分に興味を持たせるものはない。すると自然と足が向くのは部室である。そこには気がおけよ、人達がゐる。又馬場には自分に叱咤してくれる先輩がゐる。このように私にとつて馬術部はもはや単なる部ではなくなつたのである。だから私は大いに馬に乗り、そしてこの大学に於ける馬術部生活が私の人生記の意義ある一ページとするように努力する積りである。



# 財政面に於ける不定時収益に關して

マネージャー 生田勝一

我が北大馬術部も本軍創部以来三十余年、戦行復  
活五周年を迎え、自馬繁養六頭と云う恵まれた條件  
の下に愈々充実発展の一途を辿りつつある。これは  
一人我々が喜びとするばかりではなく北海道馬術界  
ひいては日本馬術界の榮華とする所ではなからうか  
と曰項思つてゐる次才である。昭和二十六年の部再  
興、二十九年の自馬購入、それに附随する厩舎部室  
の完備率々の所謂創業期に於ける諸々の艱難辛苦を  
経てここに愛國なる基礎も出来上り、部活動も安定  
した軌跡に乗って運営されつつある現状であるが、  
この先輩諸氏の多大なる御盡力を思ふ時、我々は唯  
感謝の念に堪えないのである。我々昭和三十一年入  
部々買は率にしてこの様な苦勞を味わずに済んだゆ  
けであるが、しかし我が部の充実と共に年々部員数も  
増加し対外公式戦、諸行事が多くなるに従つて部の  
運営面に、財政面に前にも増して負担なる種々の課  
題が生じてくるのである。

扱つて部の運営に當つて財政面特に資金調達と云ふこ  
とが重要な位置を占めることは云うまでもないこと  
で、例へば我が部の躍進の過程を辿る一つの証左と  
して部費及び入部金額の変遷を見るに部復活の年昭  
和二十六年に入部金二百円、部費百円、二十七年入  
部金二百円、部費百五十円、三十一年入部金三百円、  
部費二百円となつてゐるのである。収入面のうちこ  
の部費及び入部費が定時収入となり飼育費、経費費  
、備品馬具整備費、庶務事務費、その他雑費を賚つ  
てゐるわけである。(尤も飼育費の大部分はオ一機  
場の援助によるのであるが)収入面には右の外に本  
大の主題である予定時収益金がある。これは主に諸  
遠征費補助金及び臨時の支出に当てられるわけであ  
るがその収益源は主としてダンスパーテイ利益金、  
自馬食料謝礼金、及び僅少ながら北大体育会からの  
援助費から成つてゐる。戦前には想像もつかなかつ  
たであらう所のダンスパーテイを主としてその収益

金と運任費の定しどし始めは昭和二十七年八月  
までの後どの才題に夫々の才腕を振った大久保先輩  
(現運印)の力により重要な収入源となるに至つた  
のである。しかしダンスパーティーを主催し相当の收  
益をあげんとするには期日前約一ヶ月間の準備及び  
当日に於けるそれ相応の少なからぬ努力が必至であ  
る。先ず学校当局に集會届出せし証明書を下附され  
て会場の交渉に当る(我が部では從來殆んど札幌市  
の産業會館とその会場に使用してゐる。)競いて演  
奏バンドとの交渉を始め次いでポスター及び前売券  
の印刷を行い、前売券は石狩支庁税務課の検印を受  
け部員全員がその売り捌きに當る。ポスターは枚力  
してこれを市中に貼りまく。以上で大体の準備完了  
であるが、その資本金として約二万円から三万円が  
必要となる。扱て愈々当日は部員総出で会場の整備  
に従事し最も重要なる任務として下足番、及び手荷  
物一時預り(通称「箱番」)をせねばならない。  
半やかな舞台の裏にかけられた線の下の力持である。  
増収に努力を重ねて入手した売上金のうちその三十  
三パーセントと云う手痛い遊興娛樂税を國家に貢納  
して残つた金額が部の収益金となるのである。ここ  
、本年のパーティーの状況をみると、月二十一日約一

万六千円、二十一日約一万円、三月二十一日五  
千円の収益となつてゐる。多大な努力に火して何と  
その報償の少きことよ、次にこれより資金と努力を  
必要としなば収益源にオニにあげた自賠費等の謝収  
金(通称「アルバイト」)がある。市内の商店、映画館  
等の宣伝を請負ひ愛蔵のエネルギー消耗に對して出  
される謝収金を特別収入に加之するわけである。甚だ  
芳しからざることであり遺憾とする所であるが現状  
では止むを得ない。人馬一組で二万円が相場である  
がそのうち大体五百円位がアルバイト提供の部員に  
支給されるので部員の不定時収入ともなる。斯林な  
宣伝、請負は昨年七月に行つた映画「幻の馬」  
の宣伝を以つて初めとする。今年のアムバイト状況  
を見るに六月十二日「狸小路大売出し」の宣伝で一  
万三千円、九月十九日は映画「夕日拳銃」の宣伝で  
七千五百円、又十月二十一日には札幌専門右協会  
「大名大売出し」の宣伝で六千円の臨時収益がある。  
以上の二つが我が部の不定時収益の源泉となつてい  
る次オであるがしかし斯林なことは決して奨励すべ  
きことではなはし、又「ダンスパーティー」の馬術部が  
あまり有名になつても困ることになる。しかし資金  
面の苦勞は次オに切して行くであらうし、これが





一五	菅岡 威	畜二	札幌市南三條西二四丁目
	中尾 敦司	工鉦	
	木谷 濱喜貞	農実	金沢市古幸町
一六	石井 和彦	畜二	蕪取市湯所八住宅一一号
	秋吉 康忠	農林	高知縣安芸郡魚梁瀬村
	福光 幸彦	医	札幌市南七條西四丁目
	岡 義人		
	半沢 敏	工技	札幌市北大條西二十二丁目
	高木 史朗	工鉦	茨城県茨城郡川根村
	伊野 俊郎	工鉦	
	藤沢 光	農実	河東郡士幌村字中上幌
	河原 清作	工土	小樽市忍路郡塩谷村
一七	山根 之彦	畜二	蕪取立川町二丁目泉盛アパート一号室
	岡田 光夫	工土	札幌市南七條西二三丁目
	蛸崎 愛男		横滨市南區永田町三七五
	中曾根 賢	農実	札幌市菊水上町四六
	白取 善三	農実	青森県南郡石川町築師堂
一八	大戸 進	林	空知郡砂川町北本町三井木材社宅
	平井 宏和	工	
	稻葉 惠一	農化	大阪府高槻市南園町三一七
一九	福岡 邦泰	農	札幌市北二條西一丁目

蜜印乳業  
 日本三葉吉元鉦業所(秋田縣雄勝郡 西本郷村)  
 蕪取大学  
 魚梁瀬農林署長  
 福光小児科  
 北大  
 川根中学  
 北斗産業  
 蕪取大学  
 札幌市役所  
 農林省神奈川食糧事務所  
 北海道庁農務部畜産課②一六四  
 三井木材砂川工場  
 日本油脂  
 道庁内総合開発

一九	一八	二六	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	〇九	〇八	〇七	〇六	〇五	〇四	〇三	〇二	〇一
大	山	小	羽	中	宮	和	武	田	古	後	齊	淡	佐	梶	下	永	齋	鈴	福	吉				
半	村	林	島	津	崎	田	田	田	谷	藤	藤	植	藤	谷	飯	井	野	木	高	本				
英	草	正	米	見	利	晴	裕	上	昌	美	善	貞	敏	晴	隆	重	保	敏	務	正				
大	草	英	治	之	昭	晴	幸	家	司	英	一	郎	敏	男	隆	翁	保	夫	務	正				

東京都中野区巖の宮一ノ二九三  
 札幌鉄道局  
 札幌市南六條西二丁目  
 函館市港町  
 埼玉県浦和市別所西野台一三一〇  
 札幌市宮の森円山動物園内  
 札幌市南五條西一五丁目  
 札幌市北二〇條西二丁目  
 米田留學中  
 大阪府生野区新今里町五丁目一七  
 静岡県靜内村御園  
 秋田市川尻東表町  
 標津郡中標津町  
 網走市美幌町  
 仙台市東町小田東柝江二九

東京都経済局農政改良係  
 札幌副支那人老總務  
 熊本縣立種畜場  
 物産株式会社松枝部  
 十勝支庁(帯広市)  
 北大  
 北大水産学部  
 台谷製菓東京工場  
 円山動物園  
 北大  
 北大  
 北大  
 大阪府市場  
 北大日高実験農場  
 秋田市後所  
 道後試根室支場  
 美幌高校  
 北大医学部産婦人科  
 宮城農業試験場





半

田中 經介	町田 和一	森本 勝次	栗津 健太郎	林 久子	美濃部 明子	小長谷 善高	片山 静子	川田 經子
-------	-------	-------	--------	------	--------	--------	-------	-------

理類	文類	理類	水産	水産	文類	水産	文類	文類
----	----	----	----	----	----	----	----	----

恵進寮	恵進寮	札幌市北十八条西五丁目長谷川方	札幌市南一条西十七丁目	札幌市北八条西一丁目北榆莊	札幌市北七条西五十丁目	札幌市南五条西二十丁目平山方	札幌市北二条西二十三丁目	小樽市石山町五十
-----	-----	-----------------	-------------	---------------	-------------	----------------	--------------	----------

姓名

文類

札幌市北十八条西五十丁目

靜岡縣清水市官代町六

靜岡縣区七郡蘆岡町入山類二七

東京都葛飾区奥平本町二三八四

東京都太田区田園調布四二二二

東京都太田区新宿四二二三石川方